



いしかわ労福協

第 517 号 2011年2月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 上田 弘志
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定 価 一部 20円
昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

緊急サポートをファミサポへ 県内各市町を訪問し、会員の受け皿を要請

いしかわ緊急サポートネットワークは、本年3月末の事業終了を控え、1月13日から20日にかけて県内の各市町を訪問し、緊急サポート会員の本年4月からのファミリーサポートセンターへの移行にむけての受け皿の要請と各自治体の準備状況について意見交換を行なった。

受け皿となるファミリーサポートセンターは各自治体単位で設立運営されているが、石川県内では金沢市をはじめ、6市3町計9箇所で開催されているが、宝達志水町以北では未設置となっており、今回石川県の指導と助成措置により、ファミリーサポートセンター設置の体制作りを進めた結果、県下全ての19市町にファミ

リーサポートセンターが設置されることとなった。

これを受けて緊急サポートセンターでは、2月下旬から緊サポ会員に対し、「移行説明会」を開催し、ファミリーサポートセンターへの円滑な移行をめざすこととなった。

アドバイザー 直江 圭祐



能美市役所



能登町役場

ファミリーサポートセンター設置状況

既設置の市町	金沢市、小松市、加賀市、能美市、白山市、かほく市、津幡町、内灘町、野々市町
4月に設置が予定される市町	珠洲市、能登町、輪島市、穴水町、七尾市、中能登町、羽咋市、志賀町、宝達志水町、川北町

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員登録状況／サポート状況 2011年1月現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	14	165
わじま	2	12	0
ななお	8	4	0
はくい	5	6	6
かほく	19	70	20
かなざわ	164	536	1,050
はくさん	38	90	49
こまつ・のみ	21	42	17
計	263	774	1,307

労働会館公益法人移行の認識を深める

石川労福協は、2月9日(水)フレンドパーク石川において、県内各地域の労働会館関係者を



講義に入る足立中央労福協部長

対象とした「公益法人制度改革により必須となる公益または一般財団法人への移行手続き」に関する研修会に足立晃久中央労福協情報化推進担当部長を講師に招き開催した。

当日は、県内4会館の代表者ら関係者6名が参加し、足立講師から制度改革の概要や、移行手続きのあり方、またその煩雑さと重要さが説明された。出席者からは「具体的な手続きは、どんな専門家に相談したらよいのか」などの質問が出され、予定の時間を超過するほど熱心な研修が行われた。



講義に耳を傾ける参加者

連合石川総研が総会を開催

連合石川総研(連合石川総合生活開発研究センター)は、2月14日(月)午後4時からフレンドパーク石川2階ホールにて第17回総会を開催した。



澤信俊連合石川総研理事長

総会には、代議員約35名が参加し、最初に、澤信俊連合石川総研理事長が「働き方、暮らし方を考え直し、我々にとっての真の豊かさを実現するため『ディーセントワーク』『ワークライフバランス』を求めていかなければならない」と挨拶した後、狩山久弥連合石川総研専務理事から活動報告と会計報告がされた。続いて、「県民の仕事とくらしに関するアンケート」を実施するほか、昨年発足した「新たな地域交通のあり方検討委員会」についても協議と提言をしていくなどの事業計画、予算などが審議され、提案どおり全議案が承認され総会を終了した。



連合石川総研総会

これからの行事予定

(2月20日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
2月 25 日	金	第34回石川労福協研究集会・第7回LSC代表者会議	フレンドパーク石川
26 日	土	輪島LSC「ボウリング大会」	
〃	〃	緊サポ「かなざわ・かほくファミサポ移行説明会」	フレンドパーク石川
〃	〃	目指せ!自殺減少日本ー石川シンポジウム	金沢市
27 日	日	緊サポ「かなざわ・はくさんファミサポ移行説明会」	フレンドパーク石川、市民工房うるわし
3月 3 日	木	中部会館協議会「第3回幹事会」	富山市
6 日	日	緊サポ「こまつ・のみ移行説明会」	小松市民センター
7 日	月	さわやかU運営委員会	金沢市
8 日	火	2010年度労金推進委員会事務担当者研修会	ANAクラウンプラザホテル
〃	〃	勤労者プラザ運営委員会	勤ブラ
10 日	木	中央労福協「第3回地方労福協会議」	東京都内
11 日	金	勤労者福祉サービスセンター評議員会	勤ブラ
13 日	日	緊サポ「すず・わじま移行説明会」	(輪島市)県生涯学習センター
24 日	木	社会福祉審議会	金沢市
25 日	金	労金県庁出張所常任推進委員会	金沢市
4月 7 日	木	中部労福協幹事会	愛知県

アジア・アフリカ支援米を贈る



支援米の発送に先立ち挨拶する
上田弘志食・みどり・水ネット代表

食とみどり・水を守るいしかわネットワークは、1月12日(水)金沢市役所庁舎前において、アジア・アフリカ支援米の発送式を行った。

同ネットワークの上田弘志代表が、会員の日頃の取組みと我々ネットワークの取組みに賛同し米を寄付された金沢市内在住の山崎一男氏に対する感謝やこの運動を広めるための会員拡大に理解と協力をいただきたいと挨拶した後、奥田建衆議院議員と山本由紀子金沢市議会議員よりネットワークの活動に対する激励と応援の挨拶があった。



支援米を
トラックに積
込む会員

いざ東京へ

その後、備後尚正事務局長が、「会員が、昨年、石川県内3か所で田植えと稲刈りをして収穫した884kgの米と山崎氏から寄付された300kgの米の計1,184kgのうち、今回は540kgを支援米としてマリ共和国の食料に貧する子ども達などに対し大使館などを通じて発送する。また、残る644kgはカンボジアに向けて発送する予定。」と説明し、支援米を積んだトラックは船便の出港する東京港に向かって出発した。

「しっかり朝ごはん」料理教室



指導を受けながら調理をする参加者

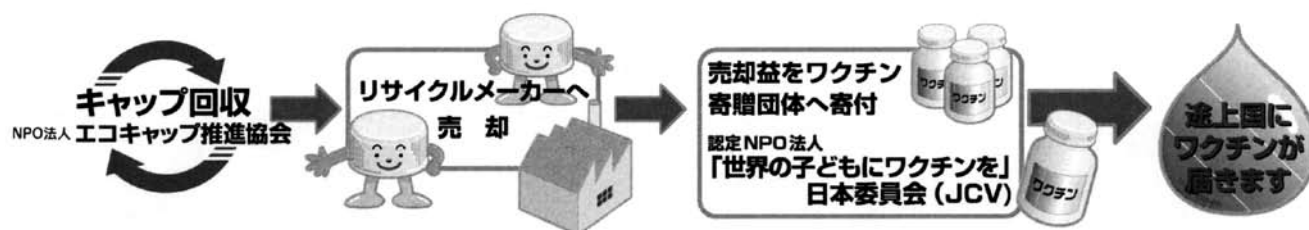
消団連(石川県消費者団体連絡会)は、2月8日(火)午前10時30分から近江町交流プラザ「キッチンスタジオ」において、「こどものときからよい習慣を『しっかり朝ごはん』の工夫」と題した料理教室を32名の参加で開催した。

料理教室は、消団連が食に対する取組みの一つとして毎年催しているもので、今回は、朝食をテーマにして、金沢友の会の岡林たまよ氏が講師となり「時間のない朝にも手軽に美味しくバランス良く朝食をつくる」をテーマに調理指導がされた後、早速、参加者は講師と同行したスタッフの調理指導により、主食の3種のおにぎりに、肉や魚、野菜を取り入れた8種の惣菜の調理実習に入った。

調理後、全員で楽しく食したが、今回は毎日の惣菜バリエーションを考え品数が多かったこともあり、昼食代わりとしても余りあるほどボリューム満点なものとなったが、「一日の活力は朝食から」子どもたちの健やかな成長のために重要な食育を身をもって体験し料理教室を終えた。

愛のエコキャップ運動

昨年度から取り組んでいる「愛のエコキャップ運動」に皆さんの温かいご協力をお願いします。



勤 文 協

白馬村で「写真・スケッチ」の研修



白馬松川橋にて

白馬バス研修旅行」を行った。

研修旅行は、38 名が参加し、朝 7 時に好天の中フレンドパークを出発、白馬(森上)→岩岳→大出公園→中綱湖→青木湖をめぐりつつ、顧問の先生方の実技指導でスケッチや写真撮影をして、午後 6 時に帰沢する強行スケジュールとなった。

白馬に向かう車中で、杉村先生は「消しゴムを使わず、力強くスケッチすること」、中川先生は「自然を大切にし、自然から受ける美しさを感じ、そしてシャッターを切り作品として仕上げてほしい」、内島先生は「写真は広く雰囲気を書ることから始めると、次に部分的な面白さが観えてくる」などの指導がされた。

最初の目的地の白馬村松川橋では、金沢で想像できない空模様の中、先に、スケッチの一行 12 人が下車し、橋上から白馬岳が薄っすらと見える程度の中、杉村先生のアドバイスを受けながら、白馬を背景にしてスケッチに取り組んだ。

また、写真の一行 26 人は岩岳に向かい気温マイナス 8 度の厳しい中、参加者はシャッターを押していた。



岩岳

その後、大出公園などに移動しつつ、スケッチ・写真撮影を行い、青木湖を最後に白馬を後に研修旅行を終了した。

帰りの高速道路では、大変きれいな夕日を目の当たりにし、降りて撮影できない悔しくもあり、複雑な気持ちで帰路についた。

勤文協幹事 一明政行

勤労者早春書画・生花展に賑わう

勤文協(石川県勤労者文化協会)は、石川労福協と北國新聞社の後援で「第 41 回石川県勤労者早春書画・生花展」を 1 月 27 日(木)から 30 日(日)の会期で金沢市内ラプロ片町のアートシアターいしかわで開催した。

会場には、日本画、洋画、書道において創作活動に励む県内の勤労者などのアマチュア作家の作品計 101 点が展示された。

また、勤文協所属の華道家、山田玉峰先生(草月)、中村雨光先生(草月)、小林嶺智先生(草月)、竹内幸先生(池坊)とそれぞれの門下生による生花 30 点が会場に彩りを添え、多くの来場者で賑わい展覧会を終えた。

彩りを添えた生花



山田 玉峰(草月)



中村 雨光(草月)

日 本 画



石川勤文協会会長賞
「くわい」
谷 鋪 ちづ子（金沢市）



北國新聞社長賞
「春は楽しい...」
辰 村 喜代美（金沢市）



竹 内 幸（池坊）



小 林 嶺智（草月）

洋 画



北國新聞社長賞
「東大寺の仁王さん」
鵜 飼 俊行（かほく市）



石川労福協理事長賞
「祈り」
中 田 富士子（金沢市）



金 賞
「うちのワンコ」
小 村 佳美（内灘町）



銀 賞
「春待ち顔」
久 保 幾代（金沢市）



銅 賞
「シクラメンの香り」
出 村 和代（金沢市）

書 道



北國新聞社長賞
「春水満四澤」
滝 田 良子（金沢市）



石川労福協理事長賞
「静嘉」
東 木 雅恵（金沢市）



金 賞
「祥鳳」
能 崎 睦美（金沢市）



銀 賞
「五彩雲」
池 田 絹子（金沢市）



銅 賞
「夢」
鈴 木 二三子（金沢市）

北陸労働金庫本店営業部がリニューアルオープン！



利用者代表と労金関係者によるテープカット

北陸労働金庫本店営業部が金沢西支店と統合し、2011年1月17日(月)にリニューアルオープンした。セレモニーは、本店営業部ロビーで労金関係者や常任推進委員長などの利用者代表も出席して盛大に開催された。

はじめに、労金を代表して森田則夫理事長が



外観も新しい本店

挨拶し、次に会員を代表して永源浩治本店東地区常任推進委員長が挨拶をした後、本店営業部の池脇伸悟職員が「より一層の

サービスの向上と業績の向上を目指す」と決意表明をした。

続いて、来賓などによるテープカットやハー



リニューアルされた店内

プ・バイオリン・チェロによる管弦楽ミニコンサートが行われ、来店者は心地よさそうに耳を傾けていた。また、当日の来店者には記念品がプレゼントされた。

店内は、「キッズコーナー」や「来店者用の多目的トイレ」が新設されるなど、来店者がより気持ちよく、ゆっくりと利用できるようリニューアルされた。また、新たな顧客サービスとして、相談業務体制が充実された。

本店営業部の新たな顧客サービス

○毎週土曜日にローン相談会を開催

営業時間：午前10時～午後5時

○平日における窓口・ローン相談業務の拡大
毎週水曜日・金曜日は午後7時まで営業時間を延長し相談業務を開催
水曜日は預金業務(入出金)も取扱う。

勤 体 協

第45回冬季大会が始まる

勤体協(石川県勤労者体育協会)は、2月6日(日)の卓球大会、バスケットボール大会を皮切りに第45回の勤労者冬季大会をスタートした。

冬季大会は、この他3月6日のソフトバレー、3月13日のバトミントン、3人3ダブルス卓球などが予定されている。

第45回県勤労者冬季卓球大会(2月6日(日)・金沢市総合体育館)
【硬式】男子▽1組 ①S-552ぬかク③KKK▽2組 宝町クA②チムつるぎ③檔の会B▽3組 ①余喜あつちやんズA②コマツ③卓志会B▽4組 ①檔の会A②KTK③白山MTC▽5組 ①NEUTRAL・A②卓志会A③加賀温泉ク
◇女子▽1組 ①檔の会②NOTOヤンキスA③ウインズA▽2組 ①SPK②NOTOヤンキス③同B▽3組 ①卓志会②金沢サンクA③NEUTRAL▽4組 ①ウインズC②あけぼの風③金沢サンクB

第45回県勤労者冬季バスケットボール大会第1日(2月6日(日)・金沢市額谷ふれあい体育館)
【ラージ】◇男子シルバ ①ななおク②白山ク③能美クA、檔の会
◇女子シルバ ①能美ク②金沢大浦公民館③ななおク
◇男子ゴールド(合計年齢240歳以上)▽1組 ①金沢大浦公民館②南加賀クB③京華クA、金沢兼六クB▽2組 ①内灘ク②金沢兼六ク③南加賀クA、能美ク
◇女子ゴールド(合計年齢240歳以上) ①羽昨卓友会②内灘ク③七尾スターズ、能美ク

第45回県勤労者冬季バスケットボール大会第2日(2月13日(日)・いしかわ総合スポーツセンターほか)
◇男子2組▽予選A ①チムコウエイ②ゆうしろうクラブ③セルフィッシュ④インフィニティ⑤Speed Master⑥村田製作所⑦DICE▽B ①MOB、Z②大徳丸③OVER30S④Hardy's⑤津田駒工業⑥アフロ大地⑦KHOKUPAPA
▽決勝 MOB、Z 48
3位決定戦 大徳丸 68
34ゆうしろうクラブ
◇女子1組▽予選A ①TFKANAWA 48
②FACE③FRESHA④みくぼの使い⑤FLIP★FLAP▽B ①TNP②Troubleshooter③QUEENBEE④MELE
▽決勝 TNP? 48
38TFKANAWA 38
aw▽3位決定戦 FACE 40 30Troubleshooter

白山LSC

2011 新春の集いに賑わう

白山・野々市地域ライフサポートセンターは、1月12日(水)午後6時より白山市学習センター「コンサートホール」



油白山・野々市地域LSC会長

にて、「2011 年新春の集い」を開催した。

参加者は約 300 名と昨年に比べて大幅に増加し、参加者の熱気で会場全体が熱い雰囲気包まれた。

油省三白山・野々市地域 LSC 会長による主催者代表の挨拶で始まり、続いて上野貞彦石川県労福協事務局長が来賓の挨拶をした。

新春の集いは今年で 8 回目のとなり、恒例の



ブルー・リープス・シンガーズによる演奏は、第一部「ブルー・リープス・シンガーズ」による 1960 年代に流行した懐かしいフォークソングやポップスを中心としたバンド演奏で始まった。

第二部では、白山市リズムダンススクールの 12 名が見事にシンクロしたリズムダンスを披露してくれた後、



肩こりなど 白山リズムダンスサークルによる演技をほぐすリズム体操「もしもしかめよ」の指導付きで、ステージ発表は、見て聴いて動いての楽しいものとなった。また、その後に行った恒例の「お楽しみ抽選会」を含め歓声上がるほどの賑いのある新春の集いとすることが出来た。

白山・野々市地域ライフサポートセンターでは、より地域と密着した活動を続けていきたい

加賀LSC

「写真展」開催

1 月 12 日(水)から、J R 加賀温泉駅前のアビオシティーホールにおいて、「写真展」を開催した。

写真展は、LSC の会員や地域の方が、LSC 行事の「モデル撮影会」や日頃の撮影活動の中で創



作した 122 点の作品が出品され、1 月 20 日(木)まで展示された。

展示作品には、昨年末に写真家の中川宏治先生が講評を行う傍ら、選考された優秀作品も展示されたほか、昨年より多い出品があったことで、大々的な写真展となり、沢山の鑑賞者が来場し賑わった。

加賀地域 LSC 事務局 角谷 悠

と考えていますので、今後ともよろしくお願ひします。

白山・野々市地域 LSC 事務局長 福村 滋

いまこそ、
ろうきんの
自動車
ローン

北陸ろうきん創立10周年記念
自動車ローン「くるま自慢」
キャンペーン実施中！
実施期間 2010年10月1日～2011年7月31日

河北LSC

退職前セミナー

河北地域ライフ・サポートセンターは、退職を間近に控えた労働者を対象にした「退職前セミナー」を1月30日(日)午前10時より、講師に社会保険労務士の谷内美穂子氏を招き七塚生涯学習センタ・ふれあい館で開催した。

折りしも国会では年金制度改革論議の真最中とあって皆さんの関心も高く、約30名の参加があった。

開催に先立って、主催者の釜井誠次河北地域LSC会長が「このセミナーで、退職後の生活設計を考えてほしい」と挨拶した。



退職前セミナー

谷内講師が、退職後の雇用保険制度、医療保険、介護保険、公的年金、税金などについて説明した後、会場から「遺族年金の受給制度はどうなっているか」などの質問が出され、約2時間に及ぶセミナーを終了した。

珠洲・能登地域LSCを招き交流する

2月5日(土)河北地域LSCは珠洲・能登地域LSCを招き、津幡町・倶利伽羅塾で交流会を開催した。

ほかのLSCの活動に学び、悩みを共有する中から活性化につなげようと昨年度の珠洲市での開催に続き行なったものである。

今回は、釜井河北地域LSC会長が「ぜひ津幡町の名所旧跡を知ってもらいたい」と、さっそく到着した珠洲・能登地域LSCの役員の皆さんを倶利伽羅古戦場周辺に案内した。

地元のボランティアガイド・桑江さん(河北



研修先の倶利伽羅不動寺前にて

地域LSC幹事)の手作りガイドブックでの源平合戦、源氏の盛衰などの話は興味深い内容でした。

雪深い山頂

金沢LSC

ボウリング大会 開催！

2月13日(日)正午から金沢市内のジャンボボールで、「2011年の春闘勝利と自治体議員



綿金沢LSC会長による始球式

選挙勝利」に向けた取り組みの一環として、金沢地域LSCと連合かなざわの共催で、「ファミリーボウリング大会」を親子連れなど70名が参加して開催した。

優勝者に賞品を贈る
曾谷連合かなざわ議長(右)

大会は、綿征一金沢地域LSC会長と曾谷修連合かなざわ議長の始球式でスタートし、ストライクやスベアが出る度にガッツポーズやハイタッチで盛り上がり、反面、久々のプレーでその結果に頭を抱える選手も続出するなど、場内は老若男女や子供たちの笑いや歓声で包まれ、気軽に楽しめる健康スポーツで、3連休の一日を楽しんだ。

優勝は杉浦直人氏(北陸名鉄運輸労組)が初栄冠を獲得した。



第三位以上の入賞者

金沢地域LSC事務局長 谷内 英明

付近へは行くことができませんでしたが、交流会では、今年度の活動について報告のあと意見交換を行ない「地域の勤労協との協力はどうに行なっているのか」「ごぞっさい祭りの出店では何を販売しているのか」など質問があり、それぞれの工夫、悩みを共有することができ、有意義な交流会となった。

河北地域LSC事務局長 安江 秀和